

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年4月30日(2021.4.30)

【公開番号】特開2019-154792(P2019-154792A)

【公開日】令和1年9月19日(2019.9.19)

【年通号数】公開・登録公報2019-038

【出願番号】特願2018-45618(P2018-45618)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

A 6 3 F 5/04 5 1 2 R

A 6 3 F 5/04 5 1 2 Q

【手続補正書】

【提出日】令和3年3月17日(2021.3.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

遊技メダルを投入可能な遊技メダル投入口と、

前記遊技メダル投入口から投入された遊技メダルが通過する通路中に設けられ、遊技メダルを検知し得る検知手段A及び検知手段B(検知手段Bは、検知手段Aより下流側に位置する)と

を備え、

遊技区間として、通常区間と有利区間とを有し、

通常区間では、ストップスイッチの有利な操作態様を報知せず、

有利区間では、ストップスイッチの有利な操作態様を報知可能とし、

遊技メダルが投入可能な状況であるときに点灯可能な投入要求ランプを備え、

通常区間から有利区間に移行条件を満たした遊技において、リプレイに対応する図柄組合せが停止表示しなかった場合には、有利区間であることを示す有利区間信号を出力するための処理を実行した後、所定期間の経過後に、前記投入要求ランプを点灯可能とし、

所定の状況にて、電源の供給が遮断される事象が発生した時から、当該電源の供給が遮断される事象を検知し、電源断処理を実行する時までの期間の設計値をT1とし、

所定の状況にて、前記遊技メダル投入口から遊技メダルが投入される場合における、当該遊技メダルが検知手段Aにより検知される位置に到達した時から、当該遊技メダルが検知手段Bにより検知される位置に到達するまでの期間の設計値をT2としたとき、

T1 < T2

となっている遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、投入要求ランプの点灯を制御する遊技機に関するものである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかし、従来の技術において、投入要求ランプの点灯タイミングについて、十分に検討されていなかった。

本発明が解決しようとする課題は、投入要求ランプの点灯処理を適切に実行することである。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、以下の解決手段によって上述の課題を解決する。なお、かっこ書きで、対応する実施形態の構成を示す。

本発明は、

遊技メダルを投入可能な遊技メダル投入口（メダル投入口43）と、

前記遊技メダル投入口から投入された遊技メダルが通過する通路中に設けられ、遊技メダルを検知し得る検知手段A（通路センサ43a）及び検知手段B（投入センサ44a）
（検知手段Bは、検知手段Aより下流側に位置する）と

を備え、

遊技区間として、通常区間と有利区間とを有し、

通常区間では、ストップスイッチ（42）の有利な操作態様を報知せず、

有利区間では、ストップスイッチの有利な操作態様を報知可能とし、

遊技メダルが投入可能な状況であるときに点灯可能な投入要求ランプ（投入表示LED79e）を備え、

通常区間から有利区間に移行条件を満たした遊技において、リプレイに対応する図柄組合せが停止表示しなかった場合には、有利区間であることを示す有利区間信号を出力するための処理（図303のステップS2996、及び図304のステップS3002）を実行した後、所定期間（図295のステップS2862及びS2863の処理に要する期間）の経過後に、前記投入要求ランプを点灯可能とし（図295のステップS2868）、

所定の状況（検知手段A及び検知手段Bが遊技メダルを検知し得る状況）にて、電源の供給が遮断される事象が発生した時から、当該電源の供給が遮断される事象を検知し、電源断処理を実行する時までの期間の設計値をT1（図271中、「T1」）とし、

所定の状況にて、前記遊技メダル投入口から遊技メダルが投入される場合における、当該遊技メダルが検知手段Aにより検知される位置に到達した時から、当該遊技メダルが検知手段Bにより検知される位置に到達するまでの期間の設計値をT2（図270中、メダルMがM2に位置する瞬間からM3に位置する瞬間までの時間（明細書「2561」に記載の「T2」）に相当）としたとき、

T1 < T2

となっている。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明によれば、投入要求ランプを適切なタイミングで点灯させることが可能となる。